



# みなと森と水サミット 2013

「日本の林業再生とみなとモデル ～都市における木材利用の促進～」  
2013年3月18日(月) 13:30~15:30 | 港区立エコプラザ

## ● プログラム PROGRAM

### 第1部

- ・主催者のあいさつ みなとモデル施行後一年の実績(港区長 武井 雅昭)
- ・日本の林業の現状とみなとモデルへの期待(林野庁長官 沼田 正俊氏)
- ・木材事業者から見たみなとモデル(越井木材工業(株) 代表取締役社長 越井 潤氏)

### 第2部

ディスカッション

- 総合ナビゲーター: 日本大学大学院客員教授 小林 紀之氏

## ● 登壇者プロフィール PROFILE

林野庁長官

沼田 正俊 Masatoshi, NUMATA

1956年生まれ。東京大学農学部卒。1979年、農林水産省入省。林野庁森林整備部整備課長、計画課長、森林整備部長、国有林野部長、林野庁次長を経て2012年9月11日より現職



港区長

武井 雅昭 Masaaki, TAKEI

1953年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。1977年、港区入区。港区議会議務局次長、政策経営部人事課長、区民生活部長など歴任後、2004年4月に港区退職。2004年6月に港区長就任、現在3期目



越井木材工業(株)代表取締役社長

越井 潤 Jyun, KOSHII

1965年生まれ。早稲田大学大学院理工学研究科修了。1993年、越井木材工業(株)入社。2005年7月より現職。日本木材保存協会理事、日本木材防腐工業組合理事、道志間伐材活用4社協合理事等を務める



日本大学大学院法務研究科客員教授

小林 紀之 Noriyuki, KOBAYASHI

1940年生まれ。北海道大学農学部卒。農学博士。住友林業(株)、日本大学大学院法務研究科教授を経て2010年8月より現職。みなとモデル二酸化炭素固定認証制度運営委員会委員長、オフセットクレジット(J-VÉR)運営委員会委員など役職多数



## みなと森と水サミットと「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」のあゆみ

2009

みなと森と水サミット 2009【7自治体参加】 2009/1/21

2010

みなと森と水サミット 2010【15自治体参加】 2010/2/17

2011

みなと森と水サミット 2011【23自治体参加】 2011/2/9

- 23自治体と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結

- 9自治体と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結 2011/7/8

- 「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」スタート 2011/10/1

2012

みなと森と水サミット 2012【47自治体参加】 2012/2/8

- 15自治体と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結

- 16自治体と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結 2012/10/31

2013

みなと森と水サミット 2013【63自治体参加】 2013/3/18

<みなとモデル二酸化炭素固定認証制度> [www.uni4m.or.jp](http://www.uni4m.or.jp)

木は木材として使用された後も成長過程で吸収したCO<sub>2</sub>を体内に固定しています。「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」は、地球温暖化防止に貢献するため、区内の新築建物や家具に区と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結した全国63自治体(平成24年10月現在)から産出された木材(協定木材)の使用を促し、使用量に応じたCO<sub>2</sub>固定量を区が認証する制度です。区は協定木材をたくさん使うことで区内のCO<sub>2</sub>固定を増やします。一方、協定自治体は元気な森づくりを進め、CO<sub>2</sub>吸収を増やします。木材活用を通じて、都市と地方が協力して地球温暖化防止に取り組む、全国初の試みです。

主催: 港区

<問い合わせ> 港区 環境課 地球環境係 03-3578-2111 (内線 2498)

